

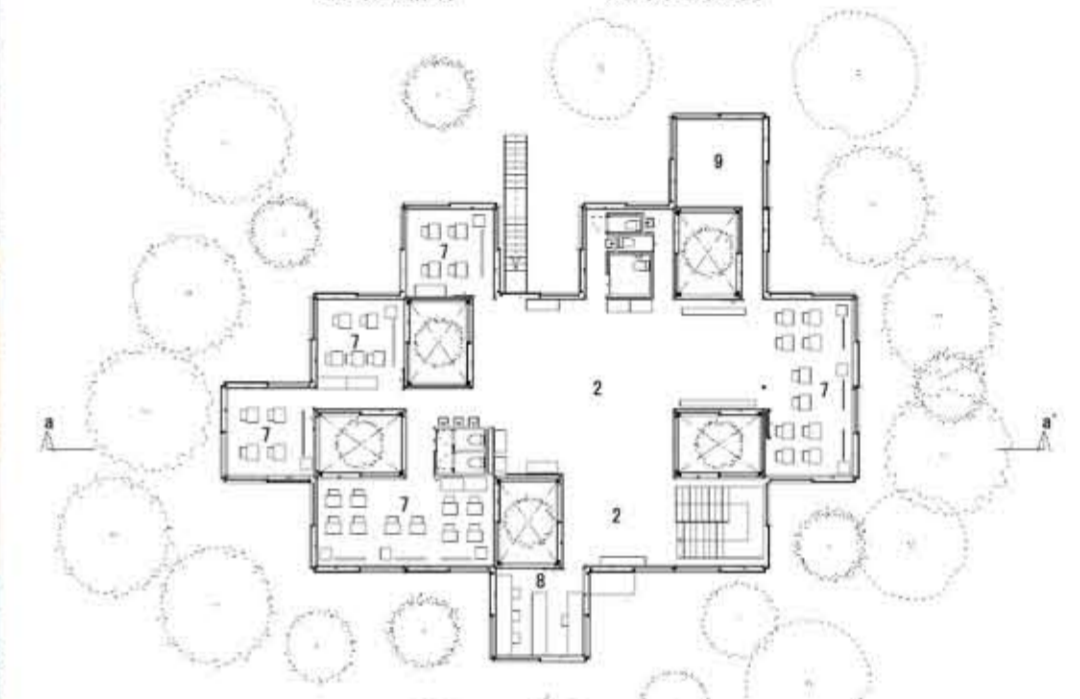
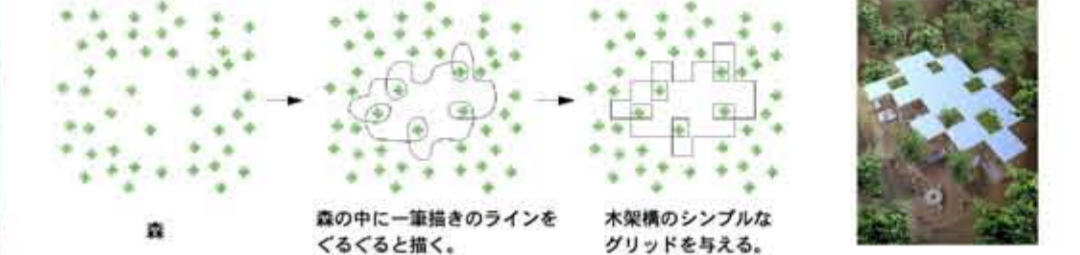


木々のなかに溶け込む透明な木質空間

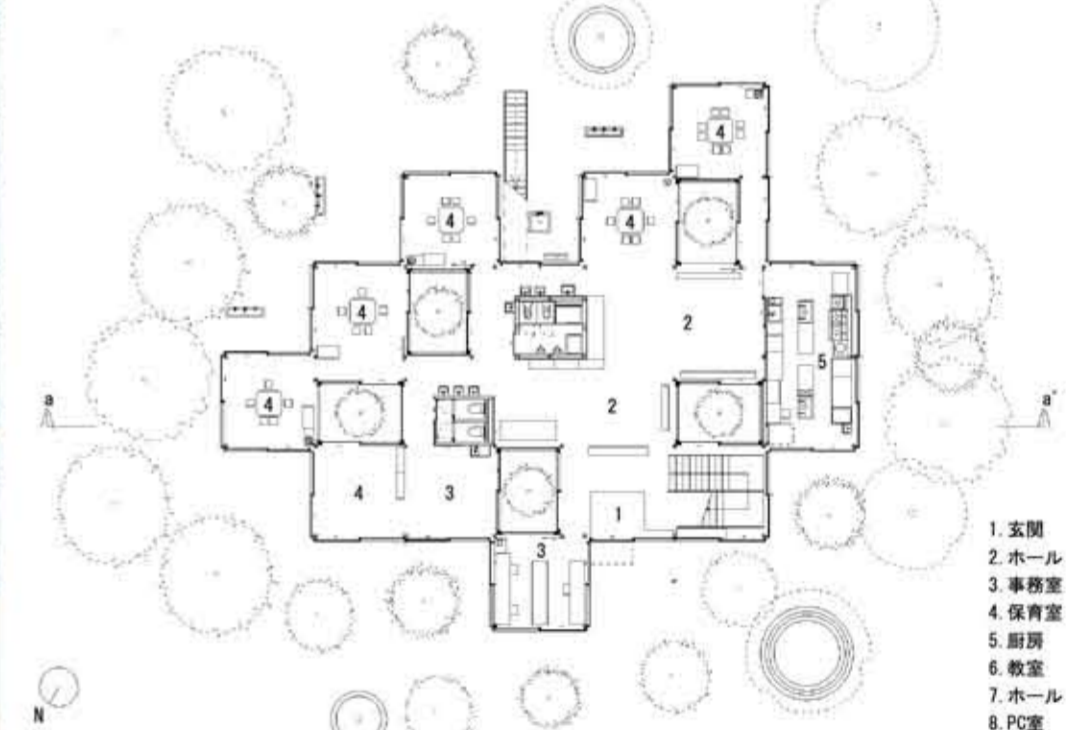
プロテスタントのキリスト教会が運営するチャーチスクール（2階）と保育園（1階）の複合施設です。敷地は横浜市の緑の多い地域に、子供達の居場所が自然豊かな森の中に混ざり合うような計画としました。森の中に一筆描きのラインをぐるぐると描きます。これにより、まるで手でかき混ぜたかのように建物と森、屋内と屋外が混ざり合い、同時に個々の教室や広いスペースが生まれ出されます。これは、屋内と屋外の新しい混ざり合いの建築です。

0歳児から高校3年生の子供達の居場所として木造を選択しました。木架橋、木床、木サッシによる木の建築を、透明かつ軽やかにすることで透明な木造を実現しました。木架橋によるシンプルなグリッド建築において、5つの中庭に鉄骨のフレーム及びガラス制震壁を入れ地震力を負担しています。屋内と屋外の境界面は木製サッシ、ペアガラスの引き戸です。木漏れ日は建物の中にも広がり、森を抜ける風は建物の中も抜けていきます。人工的に管理されすぎた建築ではない、自然と人工の間のようなおらかな建築が子供たちの豊かな居場所としての建築です。

concept sketch - 「建築と森をかき混ぜる」

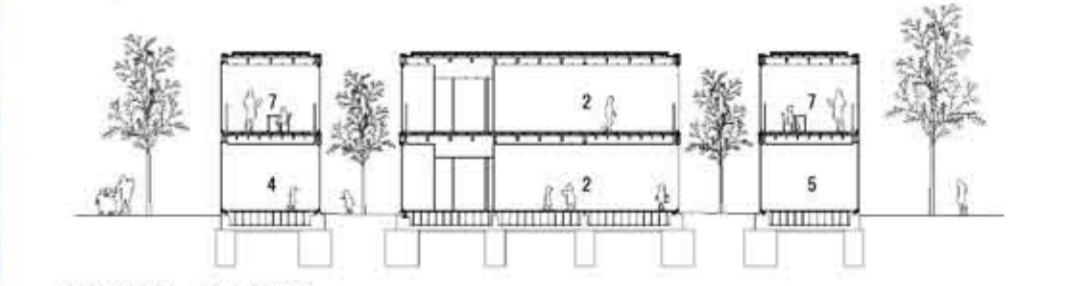


2F PLAN S=1/300

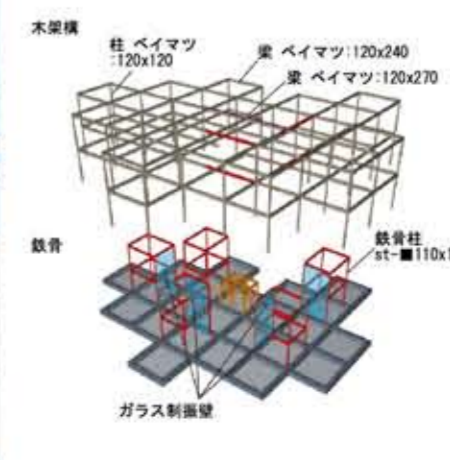


1F PLAN S=1/300

- 1. 玄関
- 2. ホール
- 3. 事務室
- 4. 保育園
- 5. 厨房
- 6. 教室
- 7. ホール
- 8. PC室
- 9. 保健室



a-a' SECTION S=1/300



木造フレームを建物全体に計画します。次に5つの中庭のガラスファサードに、耐震要素となる鉄骨フレームを溶け込ませます。110°角の鉄骨無垢柱は、木柱とサッシの取り合い部に納まり、存在を消しています。また、木の質感とガラスの透明感を維持できるガラス制震壁を開発しました。19mm厚の強化ガラスと、オイルダンパーと組み合わせ、ガラスに入る地震力をコントロール・吸収します。

